

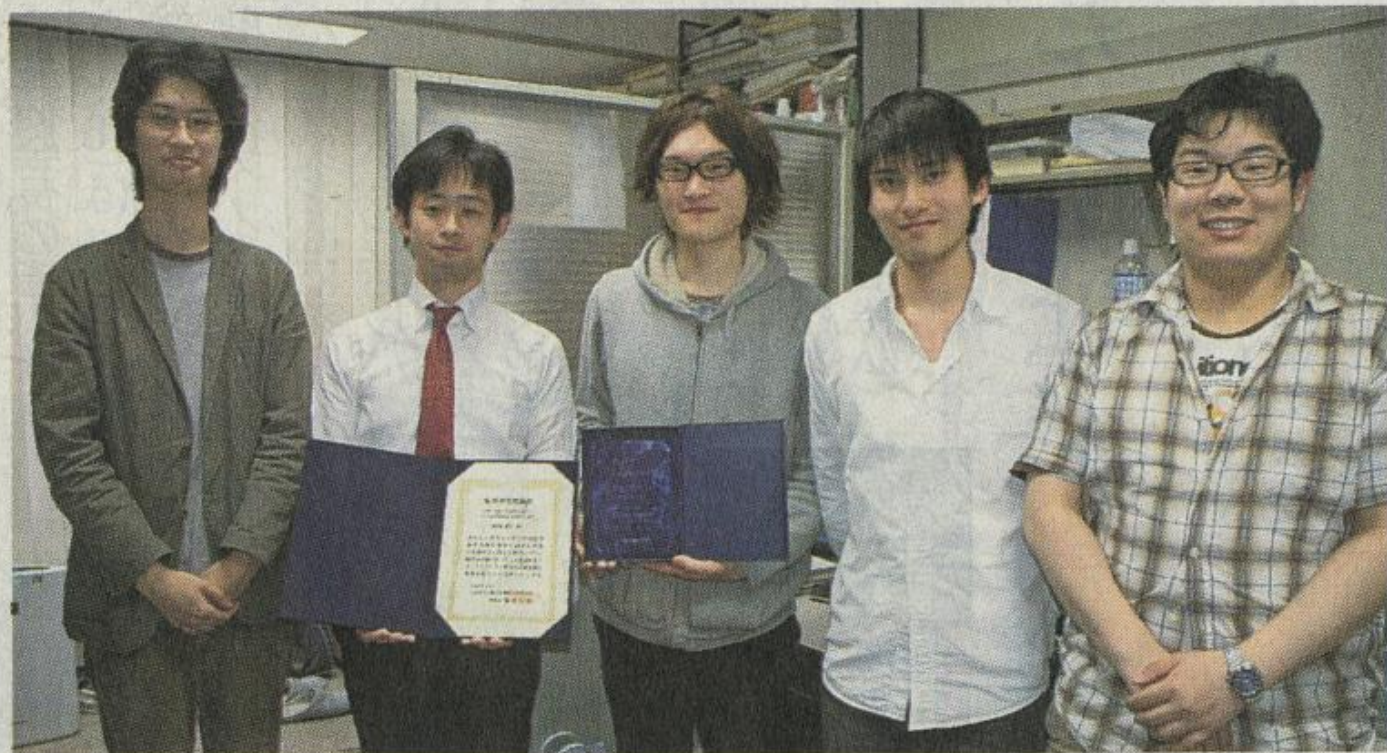
若手対象の「船井研究奨励賞」

鈴木助教（茨城大）が受賞

茨城大工学部電気電子工学科の鈴木健仁助教(30)が、情報技術、情報科学分野で顕著な功績を挙げた若手研究者（応募時29歳以下）に贈られる「船井研究奨励賞」（船井情報科学振興財団主催）を受賞した。東日本大震災のために延期されていた褒賞式が先月28日、都内で開かれ、褒賞金や賞状が贈られた。

鈴木助教は東京工大出身で、茨城大に赴任して3年目。波長が短いミリ波などの高周波数アンテナの解析・設計が専門で、今回の受賞テーマは「ミリ波大面積平面波励振高効率アンテナの高速高精度電磁界解析の研究」。

2010年度立ち上げた研究室は学生4人と職員1人で構成し、鈴木助教は「自分の力だけでなく、研究室のチーム全体でもらった賞」と強調。さらに、「うれしい気持ちもあるが、今後の研究に向けて気が引き締まった、というのが正直な気持ち」と話し、同時に研究を進める新興分野の「電磁メタマテリアル」「テラヘルツ波帯アンテナ」での成果発表に意欲を見せた。



研究室の学生らと受賞を喜ぶ茨城大の鈴木健仁助教（左から2人目）＝日立市中成沢町の同大工学部